



東北支部

化学系学協会東北大会 (弘前大会) のお知らせ

はじめに

昨年、山形大学で開催されました令和7年度化学系学協会東北大会を引き継ぎ、令和8年度は弘前大学で東北大会を開催させていただきます。東北大会は東北6県の持ち回りで開催しており、青森県では八戸地区と交互開催をしていることから、弘前地区開催は前回の平成27年度から数えて11年ぶりの開催となります。日程は、9月5日(土)~6日(日)の2日間で、会場を弘前大学文京町キャンパスで実施させていただきます。

弘前大学のある弘前市は、青森県の西部に位置し、津軽地方の中核都市として栄えた歴史と豊かな文化をもつ街です。古くは弘前藩の城下町として栄え、現在も弘前城や武家屋敷、寺社群などその面影をいたるところで見ることができます。また、市内には弘前大学をはじめとする教育・研究機関が集まり、学術都市としても発展しています。

周辺には、岩木山や世界自然遺産の白神山地をはじめとする雄大な自然が広がり、りんご栽培に代表される広大な農業地帯が広がっています。また、夏には岩木山麓で育つ甘み豊かな^{だけ}“嶽きみ”が旬を迎えます。東北大会への参加とともにここ津軽地域の豊かな風土と自然を楽しんでいただければと思います。

特別講演者のご紹介

今年度の東北大会では日本化学会会長による特別講演のほか、京都大学大学院理学研究科化学専攻教授の北川宏氏ならびに武蔵大学リベラルアーツアンドサイエンス教育センター専任講師の遠藤瑞己氏による特別講演を予定しております。また、各学協会によるセッションのほか、コロキウム、若手シンポジウム、ポスター発表など多数の企画とともに化学教育研究協議会の同時開催を予定しております。

今大会では、小・中・高・高専教員の参加費の無料化、また、学部生に加えて中学生、高校生、高専生の参加費の無料化で幅広く参加しやすい大会を目指しました。さらに、高校生、高校教員への旅費の補助なども用意しています。ぜひ多数の皆様方のご参加をお願い申し上げます。詳細につきましては本号掲載の会告(p.305)をご覧ください。

弘前地区からのご報告

弘前大学は、令和6年度J-PEAKSに採択され、「異分野融合型総合知により革新的な卓越研究大学群を構築し、この研究大学群を牽引する中核大学として、グローバル Well-being 共創社会を実現する」という目標を掲げています。特に、

グローバルヘルス、予防医学、ライフサイエンス、ソーシャルサイエンスなどの分野において、基礎から応用までの一体的な研究が推進されています。

また、弘前大学では、令和7年7月19日(土)開催の「化学への招待」に引き続き、今年度も同時期に、中学生、高校生を対象に、「化学への招待」を実施させていただく予定となっています。「化学への招待」においても参加した中学生、高校生に化学への興味を抱いていただける機会を提供できればと考えております。

おわりに

令和8年度の東北大会は弘前地区での開催です。弘前市も含めて北東北には多数の温泉もあり、また、9月には“嶽きみ”をはじめ早稲のりんごも実り始めます。おいしい食材も一緒にご堪能いただければと思います。実行委員会一同で皆様多数のご参加をお待ちしております。また、「東北大会」、「化学への招待」は、日本化学会東北支部のご支援、ご協力の下で実施されています。ここに深く感謝いたします。

〔令和8年度化学系学協会東北大会実行委員長
伊東俊司 (弘前大学)〕

© 2026 The Chemical Society of Japan